

令和5年度スマートハウス普及促進事業実施業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容	
1	日 時	令和5年5月24日 13時30分から14時25分まで	
2	場 所	オンライン	
3	出席委員	環境県民局環境政策課長 県立総合技術研究所保健環境センター環境研究部長 環境県民局環境保全課長 土木建築局建築課長 土木建築局住宅課長	
4	議 題	令和5年度スマートハウス普及促進事業実施業務の企画提案内容の審査	
5	担当部署	環境県民局環境政策課	
6	開催方法	オンライン	
7	議事内容	1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。	
		2 審査対象者 株式会社ザメディアジョン	
		3 質疑応答	
		委員質疑	審査対象者回答
		イベント等の集客や、ホームページの閲覧数を増やすために工夫する点はあるか。	SNSや住宅雑誌による広報や、当社の相談カウンターの商品への声掛けなど、幅広く情報発信したい。
		業務内容のうち、目的達成のために特に重要と考えている部分はどこか。	建築事業者への普及啓発が重要と考えており、セミナー等により、県民への省エネ住宅提案の説明方法等について伝えたい。
県内におけるスマートハウス等に係るコストの定量化方法はどのように考えているか。	既存の資料を基に、県内のエリアごとに調査・比較を行い、コストごとにエリアを色分けした費用マップの形で整理したい。		
本業務の成果を測る方法はどのように考えているか。	Web等によるアンケート調査や、相談カウンターの商品への聞き取りのほか、業界団体の協力も得ながら様々な手法でリサーチしたい。		

#### 4 審査結果

##### (1) 審査対象者の評価値

別紙のとおり

##### (2) 最優秀提案者及び選定理由

###### ア 最優秀提案者

株式会社ザメディアジョン

###### イ 選定理由

- ・全体的に課題の把握と取組の工夫に関して高いレベルの提案であったと評価できる。
- ・過去の実績のほか、事業者・専門家とのつながりを生かした提案となっており、本業務を行うに足る十分なノウハウがあると評価できる。
- ・既存ツールも活用した情報発信の効果が期待できる。

審査項目	審査基準	配点	参加者別 評価値	特記事項
			株式会社 ザメディア アクション	
1 情報収集・整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートハウス、ZEH や省エネ住宅とは何か、普及に係る課題をひとつお理解しており、不明点は業界団体や専門家などに確認できるような提案になっているか。</li> </ul>	20	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のためには、住宅を供給する事業者側の意識を変えることが必要という着眼点が評価できる。</li> <li>過去の実績から既にスマートハウスなどを理解しており、また業界団体や専門家との連携も十分想定できる提案である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民にスマートハウス等に興味を持ってもらえるような情報を収集・整理するとともに、成果（県民の行動）を把握できるような提案になっているか。</li> </ul>	40	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域別にスマートハウスの費用対効果の算出を考えるなど、県民に注目される情報の整理を考えている点が評価できる。</li> <li>アンケートなどにより成果を把握する提案であり、生の声を収集することが期待できる。</li> </ul>
2 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成や Web 広告に係るノウハウがあり、注目を集める工夫がなされた提案になっているか。</li> </ul>	40	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ作成の実績があり、Web 広告に係る専門家と具体的なパイプがある点が評価できる。</li> </ul>
3 イベント・セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートハウス等に係るPRを見据えながら、注目を集める工夫がなされたイベント出展の提案になっているか。</li> </ul>	40	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験を通してZEHを実感してもらえるよう工夫されており、特にファミリー層の注目を集めることができると考えられる。</li> <li>既存の媒体と顧客を背景としたPRが期待できる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートハウス等に係るセミナー講師候補者とパイプがあるなど、円滑な業務を実施できるような提案になっているか。</li> </ul>	20	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界団体等との連携が十分に想定でき、その効果も期待できる。</li> </ul>
4 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>類似業務の受託実績や必要な人員の確保など、本業務を遂行するに当たり十分な執行体制になっているか。</li> <li>県とのさまざまな協議、調整に対応できる体制が整っているか。</li> </ul>	20	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績のある人員が確保できていると評価できる。</li> </ul>
5 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に向けて計画的かつ現実的なスケジュールが提案されているか。</li> </ul>	20	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的かつ現実的なスケジュールであると評価できる。</li> </ul>
合計点数		200	156	

※本結果は、5名の委員の合計点によるものである。